

今後の部活動の地域移行について

1 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン

当初、国のスポーツ及び文化活動に関する検討会議の提言を踏まえたガイドライン案では、令和5年度から令和7年度までを改革集中期間として重点的に休日の地域移行の実現を目指すとした。

しかし、すべての地域が同じように達成することが困難なことから、12月27日に公表されたガイドラインでは改革推進期間と改め、3年間の休日の地域移行に取り組みつつも、達成時期は国として一律に定めず、地域の実情等に応じて可能な限り早期に実現を目指すことが示された。

このことにより、国の予算の大幅な縮小があったことも踏まえ、前回の七尾市部活動のあり方検討委員会で議論した内容を一部変更させていただきたい。 ガイドライン概要…参考資料1

2 市の方向性

(1) 当初予定

① 4中学校から報告があった13部活動での休日の地域移行

◇中学校から報告を受けた部活動

七尾中学校	陸上部 (中長距離)	女子バスケット ボール部	男子ソフトテニ ス部	女子ソフトテニ ス部
七尾東部中学校	男女体操部	なぎなた部		
能登香島中学校	女子バレーボー ル部	男子ソフトテニ ス部	女子ソフトテニ ス部	
中島中学校	バドミントン部	男子バスケット ボール部	女子バスケット ボール部	野球部

(2) 変更後

① まず令和5年度は、モデル校での実証事業を実施し、今後の地域移行の課題整理

② モデル校については、休日はなかじまスポーツクラブで活動している中島中学校の4部活動

③ 令和6年度以降に休日の地域移行が可能な部活動を選定し実施

④ 休日の移行期間にとらわれず、平日を含めた地域部活動への移行を目指す

3 休日の地域部活動実施に向けたお願い

継続性のある地域部活動を計画していくため、受け皿となる競技協会や地域スポーツクラブ等に協力を求め、学校と連携した体制づくり

(1) 土日いずれか1日(3時間以内)の既存部活動の指導

(2) 複数名の指導者の確保(団体としての運営継続、活動中の安全面を考慮し2名を想定)、練習場所の確保、生徒、指導者の保険加入

(3) 市から指導者への謝金、競技団体(スポーツクラブ)への経費補助を予定

※令和5年度当初予算 要求中

・指導者謝金

指導者(1人1時間あたり) 1,600円(1日最大3時間以内)

■ 上限(指導者1人あたり) 1,600円×3時間×52週=249,600円

・競技団体事務補助

1競技あたり年間20,000円

想定事務内容:指導者の指導時間実績の取りまとめ(活動日誌等の記入・集計)

活動場所の確保、生徒・指導者の保険加入手続き

4 大会等の在り方の見直し

(1) 県中体連および地区中体連が主催する令和5年度からの大会参加のための認定基準

- ・ 地域スポーツ団体等が認定申請を行い、基準を満たせば参加できる。
- ・ 1競技に選手は地域スポーツ団体または学校のいずれかに参加できる。
- ・ 大会には教員が引率しなくても、責任ある代表者や指導者が選手を引率できる。
- ・ その他、地域スポーツ団体等に関する認定基準の遵守。 参考資料2

5 今後の取組み

(1) 部活動の地域移行スケジュール

年度	地域移行の内容		
	内容	日	時間
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回七尾市部活動のあり方検討委員会開催 11月24日開催 ・ 第2回七尾市部活動のあり方検討委員会 R5年2月27日開催 	部活動休日の 1日	9:00~16:00 ※各団体の活動時間による
令和5年度	・ 部活動を選定し実証事業の実施		
令和6年度	・ 移行可能な部活動を選定し実施		
令和7年度	・ 移行可能な部活動を選定し実施		
令和8年度以降	・ 全部活動対象で実施、平日部活動の地域移行		

※七尾市部活動のあり方検討委員会は3か月に1回程度（5, 8, 11, 2月）開催予定

(2) 体育協会、地域スポーツ団体等

- ・ 3月以降に体育協会を通じて各競技協会等に対し部活動の地域移行についてお願い

(3) 中学校

- ・ 現在、「七尾市立中学校部活動の地域移行」に関するアンケート調査中 参考資料3

6 今後の課題

(1) 指導者の確保

- ・ 指導者を確保するための体制の構築

(2) 段階的な地域移行に関わる整備

- ・ 児童生徒、保護者、地域、教職員等への周知や理解
- ・ 受け皿となる組織や仕組みの検討

(3) 予算の確保

(4) 大会のあり方

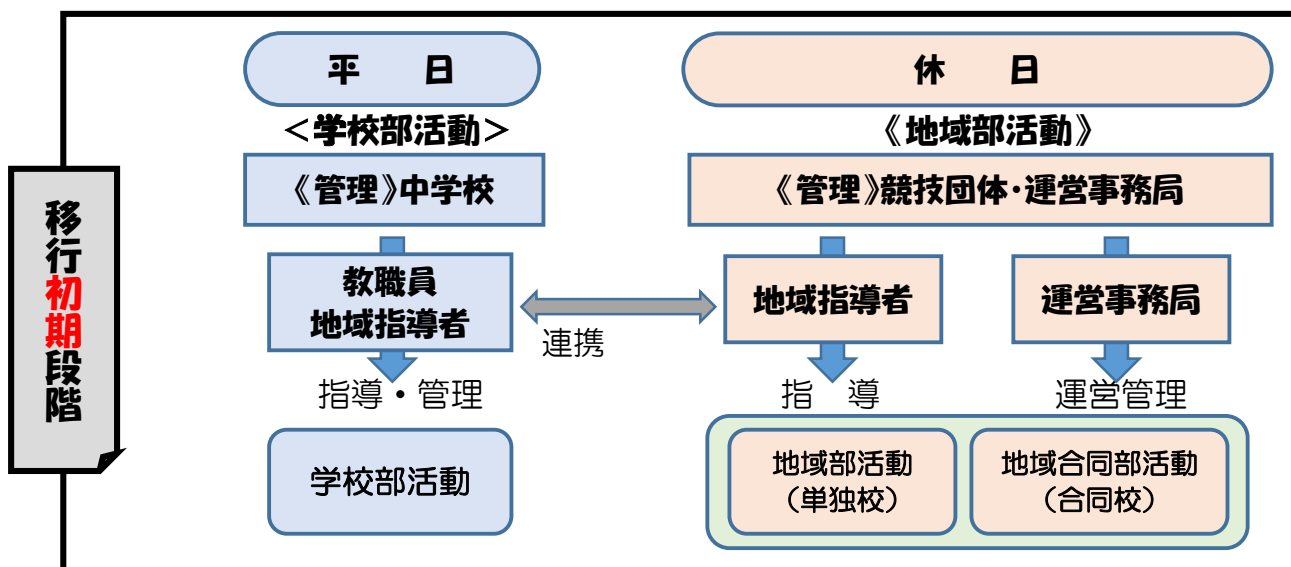
- ・ 中学校体育連盟との連携
- ・ 休日における教員の大会運営への参加

(5) プロスポーツ団体等との関わり

イメージ図

【移行発展段階】（R5年度～）

- ・モデル校の実証事業後に、休日の地域部活動を移行可能な部活動を選定し実施



【移行発展段階】（R8年度～）

- ・地域部活動への活動状況を見ながら、休日の地域部活動に加え、平日の勤務時間外の部活動を地域部活動へと展開

